

総会経過概要

第74回全国労働委員会連絡協議会総会は、令和元年11月14日（木）から15日（金）にかけて、中野サンプラザにおいて、中労委及び都道府県労委の公労使各側委員、事務局長のほか、各事務局職員を含め、約510名の参加者により開催された。

14日は、岩村正彦全国労働委員会連絡協議会会長（中労委会長）は宮中行事である「大嘗宮の儀」に参列したため、欠席となり、全労委運営委員長である荒木尚志委員（中労委・公）が会長代行を務めた。荒木会長代行の開会挨拶の後、来賓として自見はな子厚生労働大臣政務官が挨拶をされた。

規約により荒木会長代行が議長となり、まず、公労使各側副議長の指名が行われ、公益側副議長に畠山稔委員（中労委）、労働者側副議長に田中穂委員（鳥取）、使用者側副議長に濱田行雄委員（徳島）がそれぞれ指名された。

続いて、荒木全労委運営委員長（中労委・公）から前回総会以降の運営委員会審議経過及び今後の労働委員会の在り方検討事項等についての説明が行われ、了承された。また、吉本明子全国労働委員会連絡協議会事務局長（中労委事務局長）から、労働委員会の活動状況についての報告が行われた。

さらに続いて、「働き方改革と労使関係」と題して、菅野和夫氏（元中央労働委員会会長）による講演が行われた。

15日には、議題審議が行われた。

まず第1議題として、「今後の労働委員会の在り方検討小委員会『中間整理』について」（中労委提案）の審議が行われた。

提案理由説明

森戸 英幸（中労委・公）

意見発表

鷹取 司（岡山・公）

山本 敏明（京都・労）

石川 純彦（東京・使）

舘内 悟（山形・労）

後藤 裕（福岡・公）

名越 あけみ（鳥取・使）

池澤 研吉（高知・労）

松岡 嘉彦（福岡・使）

川田 琢之（東京・公）

続いて、第2議題として「不当労働行為救済申立事件の当事者と関わりのある公益委員の回避及び参与委員の交代について」（北海道・東北ブロック公労使提案）の審議が行われた。

提案理由説明

水野 紀子（宮城・公）

意見発表

彼谷 環（富 山・公）
傳田 雄二（東 京・労）
和田 直哉（兵 庫・使）

議題審議終了後、次期運営委員の指名が行われ、岩村会長（中労委会長）の閉会の挨拶をもって総会は終了した。

総会終了後、第1回運営委員会が開催され、運営委員長に荒木尚志委員（中労委・公）が、副運営委員長に笠井正俊委員（京都・公）がそれぞれ選出された後、令和2年の総会に関する事項、今後の労働委員会の在り方検討に関する事項等について、協議が行われた。